

授業科目名： 算数科指導法	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：岡田裕 担当形態：単独
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（小学校）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>算数科は初等教育の中でも「国語や算数」と語られるように、重点教科の一つです。小学校での授業時数も多く、小学校を卒業しても中学校や高等学校で「数学科」として発展していく教科です。また、必要なデータを収集・分析し、その傾向を踏まえて日常の課題を解決する統計教育の充実も算数科指導法の重要な授業目的です。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>授業の内容は、小学校教育を担う人材育成を念頭に置いています。とりわけ算数科の指導法を習得する上での留意事項などが網羅されています。実際の学習指導案を作成したり、模擬授業をしたり、楽しい授業が展開されます。また、皆さんの基礎的な算数力の向上に役立ちます。</p>			
<p>授業計画 通信：第1回～第7回 面接：第8回～第15回</p> <p>第1回：算数・数学教育学とは</p> <p>第2回：教育の基盤となるもの</p> <p>第3回：学習指導要領の要点</p> <p>第4回：A 数と計算（指導案作成を含む）</p> <p>第5回：B 図形（指導案作成を含む）</p> <p>第6回：C 変化と関係（指導案作成を含む）</p> <p>第7回：D データの活用（指導案作成を含む）</p> <p>第8回：数学的活動と用語・記号</p> <p>第9回：A 数と計算（模擬授業）</p> <p>第10回：B 図形（模擬授業）</p> <p>第11回：C 変化と関係（模擬授業）</p> <p>第12回：D データの活用（模擬授業）</p> <p>第13回：情報通信技術を活用した算数教育1(表やグラフ表現の場面などでのコンピュータ利用)</p> <p>第14回：情報通信技術を活用した算数教育2（正多角形の作図場面などでのプログラミング体験）</p> <p>第15回：算数・数学教育を研究するための手引き</p>			
<p>テキスト 「初等算数科教育法 新しい算数科の授業をつくる」黒田恭史編（ミネルヴァ書房）</p>			
<p>参考書・参考資料等 小学校学習指導要領解説 算数科編 文部科学省</p>			
<p>学生に対する評価 通信：課題提出（2課題）面接：模擬授業50%、事後レポート50%</p>			

